

倉科光子

植物画展

ツナミ

プランツ

— 津波浸水域

の植物たち —



2023年

1/21 土 ↓ 12 回
3/

開館時間／午前9時↓午後4時45分

(最終入館は午後4時まで)

休館日／月曜日

入館料金／一般……………400円(350円)

高校生……………200円(150円)

小中学生……………100円(80円)

(…内は20名以上の団体割引料金。)

南相馬市と飯館村に居住、通学する小中
高校生は無料。障がい者の方と付き添い
の方1名、生活保護世帯の方は無料です。
(入館の際に手帳等をご提示ください。)

福島県南相馬市原町区牛来字出口194

電話0244-2316421



南相馬市博物館



ミズアオイ

マルミノシバナ



スナビキノウ



メマツヨイグサ



tsunami plants

ツナミプランツ

2011年の東日本大震災の後、津波の浸水域にはそれまで見られなかった植物が繁茂しました。私は、そんな植物に「ツナミプランツ」と名付け描いています。津波により、海岸植物は内陸に運ばれ、内陸の植物は海岸に押し流され、土の奥深くからは絶滅危惧種のタネが掘り出され、遠くの海岸からは植物のタネが流れつきました。自然の脅威に私たちが呆然としていた頃、小さな植物は芽を出す準備に取りかかっていたのです。津波によって掘り起こされたタネは人々を驚かせた後、あるものは田んぼの奥で眠りにつき、あるものは厚い土砂に埋められコンクリートの下に。そしてあるものは人の手によって手厚く保護されています。行くたびに復興工事は進み、今見ている景色が来年見られるとは限りません。しかし、永い間地面に埋もれていた後、地表に出てきた植物のタネは、いまだにちよつとしたさっかけで芽吹くのです。それは人間にとっては取るに足らない小さな出来事に見えるかもしれませんが、その出来事が太古の昔から偶然と淘汰を繰り返してきた自然史の一部だと思えば、そこに生えている植物が生き延びてきた理由がぼんやりと見えてくるような気がするのです。

倉科光子

講師

倉科光子

青森県三戸町生まれ東京都在住
国立科学博物館植物画コンクール
筑波実験植物園長賞
カーネギーメロン大学
ハント国際植物画コンクール入選
RHS英王立園芸協会
Botanical Art
and Photography Show
ゴールドメダル、審査員特別賞
問合せ・申込先◎南相馬市博物館

ギャラリートーク

展示特別室でそれぞれの絵の背景、エピソードなどを倉科氏の取材に協力した黒沢氏とともに話します。

講師◎倉科光子氏

◎黒沢高秀氏(福島大学教授)

日時◎令和5年2月12日(日)

第1回◎午前11時

第2回◎午後2時

◎各回30分程度

参加費◎無料

展示室入室は鑑賞券が必要です。

各回定員◎15名

申し込み多数の場合は

別室での講座になります。

どなたでもご参加いただけます。

関連イベント

絵画教室「透明水彩色鉛筆で植物画を描く」

日時◎令和5年2月11日(土)

講師◎倉科光子氏

第1回◎午前9時30分～午前11時30分

第2回◎午後1時30分～午前3時30分

場所◎南相馬市博物館体験学習室

対象◎中学生以上

各回定員◎10名

参加費◎無料

水彩紙に下絵を描いたものを用意しています。
36色透明水彩色鉛筆、筆、水を使って色を重ねる楽しさを味わってみましょう。
初級者向けの教室です。使い慣れた画材がある方はお持ちください。

ツツイトモ



南相馬市博物館
〒975-0051
福島県南相馬市原町区牛来字出口194
電話0244-2316421

- JR原ノ町駅からタクシーで約10分
- 常磐自動車道南相馬ICから車で約20分
- 福島市から車で約90分
- 仙台市から車で約80分



倉科光子
植物画展
ツナミ
プランツ
津波浸水域
の植物たち